

	公表	事業所における自己評価総括表
--	----	----------------

○事業所名	ハグピア （児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	令和7年4月8日 ～ 令和7年4月26日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25 (回答者数)	18
○従業者評価実施期間	令和7年4月8日 ～ 令和7年4月26日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4 (回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年5月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	完全個別療育であるため、お子さんの得意なこと・苦手として いること・現状何が1番の課題として挙げられるのが直ぐに キャッチすることが出来ます。	お子さんの性格・障害特性・運動機能を見ながらあらゆるパ ターンで課題がクリア出来るよう、幾つか教材・教具を用意し 実践している。実践したことは必ず記録に残し、次回へ向けて アプローチの仕方をブラッシュアップしております。また、個 別支援で得たスキルを幼稚園・保育園での生活・ご自宅での生 活でも般化が出来るよう、保護者さんが負担無く取り組めそう な内容も検討しております。	お子さんの好反応が見られなかった場合、お子さんの好きな キャラクターやツールを活用した教材や強化子（おもちゃ） を提示しモチベーションを上げております。また、スーパー バイザーや他セラピスト・関係療育機関と相談。新たな策を 準備し進めております。状況次第では、時間を置いて再試行 する場合の方が良い場合もあるため、お子さんの様子を見な がら別の課題を進めるなどしバランスを取っております。
2	保護者さんに、リアルタイムで課題の実践方法を伝えることが でき、メインであるセラピーの様子も直に見ていただけること です。	お子さんの様子を見ながら、大人側の声の掛け方やタイミング 等を検証・実践し、取り組んでいただいています。また、保護 者さんへも「こういった対応が分かり易くて良かった」など フィードバックをさせていただき、自信を持っていただけるよ うに進めております。	事業所で実際に使用している教材の貸し出し等を行ない、出 来るだけホームワーク（ペアレントトレーニング）の充実が 出来るように、ご提案させていただいています。
3	保護者さんのお話を毎回伺うことができ、お子さんのエピソードや 困り感なども共有し易い環境であることです。	お話を伺う際には、5W1Hだけでなく保護者さんから見て感 じることや思いを共有し、どのように解決の糸口を見つけて行 くかを随時ご提案しています。	お子さんを取り巻く環境は1つでは無いことから、必要に応 じて関係者会議を開催。常事業所の他、他事業所・幼稚園・ 保育園・相談支援事業と、支援方針の見直しやアプローチの 方法を検討しております。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	集団での活動が圧倒的に少ないことです。	完全個別療育で進めているため、集団活動を作る機会が早々に ありません。	その時に動くことが出来る職員のサポート・同じセラピーの コマで、同じ課題を持っているお子さんがいる場合、協力を 得ながら4～5人程度の小集団で活動を行なうことも検討し て参ります。
2	屋外活動が少ないことです。	基本的には、1対1の机上で行なう課題を進めて行き、大人の 指示に応じることや続けて課題に取り組む態勢を作ることがメ インであるためです。	お子さんの様子を見ながらにはなりますが、運動機能面を促 進する課題も実施しているため、近隣の公園や広場に行って 自転車に乗る練習や遊具の使い方等も作って参ります。
3	急遽、外部からの対応が入った際にタイムリーに動くことが難 しいです。	時間帯によっては、管理者含めセラピスト全員が担当ケースに 入っている場合があり、スタッフルームにセラピスト不在の状 況が出来てしまうのが現状です。	不在になる時間帯に限り、サポートとなる事務職員を配置し 即時対応が出来るような体制を検討致します。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保 護 者 へ の 説 明 等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	17	1			・療育のはじめに聞き取りがあり相互理解ができている。 ・家庭の状況、健康状態、保育園で過ごしている状況など時間を十分にかけてヒアリングしてくれるほか、必要事項は専門家に確認してくださっています。	・週に1回の利用であるため、こちらから保護者さんに生活面や状態の変化など、詳細をお伺いさせていただいています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18				・相談にいつでも乗れる体制になっている。 ・色々なアドバイスを頂けるので家でも意識しながら子供と接することができます。	ありがとうございます。引き続き、利用時以外にもメール等でお話や共有が出来る雰囲気を作って参ります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18				・親身になって相談に応じてくれる。	ありがとうございます。今後も、ご家族の伴走者として支援を共有していけるよう進めて参ります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	3		11	・今のところ参加はできていないがイベントがある時には毎回声をかけていただいているので交流の機会は設けられていると思う。	事業所単体でのイベントは現状無く、法人としてのイベント・催しものがあった際は都度宣伝させていただいています。今後も、地域交流・家族交流が出来る機会にはお声掛けさせていただきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16			2	・メールなどで担当指導員といつでも連絡できるようになっている。	ありがとうございます。ご相談いただいた内容に関しては、必要に応じて詳細をお伺いすると共に、状況に応じては各関係機関との担当者会議を設ける等し解決へと進めて行けるよう、引き続き努めて参ります。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18				・アイバックというシステムで情報伝達がされている。	メール・口頭・支援ツールを通じて、今後もお子さんの成長過程・保護者さんの困り感や嬉しかったエピソードなど共有して参ります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	14	1		3	・毎回書面と口頭で情報共有を図っている。 ・メールや冊子等で活動内容を紹介し、発信していると思う。	課題の記録・利用後のフィードバックメール・法人広報誌にお目を通していただき、ありがとうございます。引き続き、事業所・法人の情報発信を積極的に行なって参ります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17			1		引き続き、個人情報の取り扱いには留意して参ります。
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13	1		4		各種マニュアルが設置されていること、随時お目を通していただく発信が至らなかったと思います。随時発信して参ります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5	3	2	8		各種災害を想定した訓練に関しては、セラピスト間での実施・確認（避難動線の確保や誘導方法など）はしていますが、お子さんが利用している間での避難訓練は実施しておりません。今後、必要な訓練として実施を計画し共有出来るように致します。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16	1		1		引き続き、教材・遊具などお子さん・保護者さんが手に触れるものに欠損は無いかな等点検して参ります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15	1		2		幸い、大きな事故に至るケースはありませんでした。しかし、お子さんの体調の変化や軽微な怪我（手を机にぶつける・ささくれを取ってしまう等）は常に隣り合わせであることを考え、少しでも変化があった際には必ずご報告するよう努めます。
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	18					ありがとうございます。今後も、居心地の良い事業所であるように致します。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	15	2		1	・課題に取り組む意欲はさておき、先生方に迎えて頂くといつもととても嬉しそうです。	お子さんとセラピストとの関係性が構築出来ること、とても嬉しく思っております。引き続き、課題の負荷は調整しながら「今日も1日楽しかった!」と言ってもらえるような事業所を目指して参ります。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
満足度	29	事業所の支援に満足していますか。	18				・いつも丁寧に聞き取り、セラピーをして頂きとても感謝しています。 ・利用し始めてまだ短いですが子どもの成長がかなり見られます。先生方も子どもにはもちろん保護者にもとても寄り添ってくださりありがたいです。なんでも相談しやすいですし的確なアドバイスをしてくださります。通ってよかったと思っています。 ・担当指導員がついており、子供の理解度や保護者のニーズに合わせて療育を実施してくれている。また、家庭での療育の仕方についても示されており、満足しています。 ・丁寧かつ親身になって寄り添いご支援頂き、大事な拠り所とさせていただいております。親子ともども本当にありがとうございます。 ・成長に合わせてのプログラムを作成して頂いております。ありがとうございます！	たくさんの有難いご意見、本当にありがとうございます。ご自宅におきましても、事業所同様の課題をホームワークとして実践してくださり、有難く存じます。

セラピスト達も、日々学びの積み上げです。支援が行き届いていない箇所や、説明の際に言葉が足らず不安や誤解を招いてしまうことの無いよう、細心の注意を払い業務を遂行しております。セラピストの対応だけでなく、環境面においても不足な部分がありましたら、遠慮なく仰ってくださいと思います。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和7年5月27日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		基準に見合ったスペースを確保しています。	継続して取り組んで参ります。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		○	基準に沿っているが、セラピスト全員が担当ケースに入っている場合があり、急遽外部からの対応が難しい場合があります。	支援は継続しつつ、外部への対応が滞りなく進むよう体制を考えます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		お子さんの特性に合わせた環境設定を常に意識し、対応しております。	継続して取り組んで参ります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日環境整備を行ない、居心地の良い環境作りを進めております。また、おもちゃやゲームを幾つか用意し、お子さんのモチベーションが上がるように配慮しています。	継続して取り組んで参ります。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		○	基本的には、使用することを良しとしています。しかし現状、他のお子さんも他部屋を使用しているため、状況を見ながらの促しにはなります。	幾つか代案を提示し、お子さんにとって必要な環境を提供して参ります。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		毎日の業務（支援・事務作業）にて振り返りを行ない、原因の追究と次回からの動き等を随時確認しております。	自身が抱えているケース等、全体で共有しな更に知見を深められるようにして参ります。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者さん送迎のため、その都度ご意向・ご意見を確認しております。また、頂戴した声は事業所内で共有し、改善を心掛けております。	改善後の経過も踏まえて、随時報告が出来るようにして参ります。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		日々のケース実施前後・支援者会議・教材作成等の時間を有効活用し、疑問や意見を共有しております。	PDCAサイクルを念頭に、日々の業務改善を心掛け、実践して参ります。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	今後、外部への委託検討しております。	評価実施の際は、更なる改善を行なって参ります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		外部研修への参加の他、定期的な研修を法人内で実施しております。	外部・内部ともに情報を収集し、学びの機会をより増やして参ります。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		5領域に合わせた支援プログラムを作成、公表しております。	引き続きし作成、公表を行なって参ります。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		保護者へのフィードバックや法人内でのスーパーバイズを基に課題等を検討し、計画を作成しております。	よりフィードバックやスーパーバイズの内容を基に課題等を更新して参ります。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		作成にあたり、放課後等デイサービス計画作成の為の関係者会議を開催し、その時期にあった計画内容の検討を行なっています。	それぞれの関連職員が、より共通理解できる様会議時期の選定等を行なって参ります。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		各担当職員と話し合いながら、計画を立てた内容を進めております。	実施状況を、各職員間でのフィードバックを強化して参ります。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		お子さんの様子を、生活面・課題への取り組み姿勢等から検証し、どのようなアプローチをしていくと成長を促すことが出来るか、エビデンスに基づいて確認しております。	全体で共通認識が出来るフォーマルアセスメントの実施等を、盛り込めるよう検討して参ります。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		支援の5領域を中心に、各項目に対して現状の様子と課題を記載。具体的な支援内容・支援者が行なうことを、各領域ごとに設定しております。	適宜見直しを行ないながら、各領域ごとの支援内容を設定して参ります。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		日々のセラピーの様子・関係機関からいただくスーパーバイズを基に、プログラムを立案。担当者及び児童発達支援管理責任者として、話し合いながら進めております。	週間計画等より、日々の支援が見える化出来るよう、詳細な立案を行なって行きます。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		当日の記録と課題シートへ、「次回課題として進められる事柄」を明記し、成長に沿った課題構成を行なっております。	PDCAサイクルを念頭に、プログラムをアップデート・マイナーチェンジして参ります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。		○	基本的には、完全個別療育のため集団での活動が圧倒的に少ないことが現状です。	状況に応じて、他職員・他児の協力を得ながら４名程度の小集団を構成し、獲得したスキルを集団生活へ般化出来るよう進めることを
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。		○	毎日の打ち合わせは実施していないが、各々で必ず日報・メール確認を業務ルーティンへ入れ、必要に応じて詳細をリアルタイムで確認しております。	引き続き、齟齬の無いように取り組んで参ります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		その日利用した子どもの状態及び、保護者との話の内容を共有し、次回に活かせるようにしております。	次回利用時に気づきとして振り返りを行なっている為、継続して参ります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		サービス提供記録を毎回記入し、検証等につなげられるようにしております。	継続して取り組んでいきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		6ヶ月毎に放課後等デイサービス計画書についてモニタリングをし、計画書を更新しています。	継続して取り組んでいきます。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者が参加しております。	継続して取り組んで参ります。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		法人の事業所と連携を取りながら、地域の医療との連携や各関係機関と連携できる様体制整備をしております。	継続して取り組んで参ります。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		お子さんの保育園・幼稚園等の様子の見学を、先方と相談しながら実施しております。また、個別療育の他に必要な資源がある際は、保護者さんへ説明し、その根拠を明確に提示しております。	継続して取り組んで参ります。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保護者さんから、学校見学の情報を伺い、必要に応じて状態報告書の作成や関係者会議の開催を進めております。	継続して取り組んで参ります。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	○		各事業所や関係機関と連携を図り、支援への助言をいただき共有しております。	継続して取り組んで参ります。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○	ほとんどのお子さんが、他機関の事業所等を利用されているため、現状では機会を設けておりません。	関係機関と連携し、方法を検討して参ります。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		療育終了後、口頭でのフィードバックとメール等での情報共有等から、共通理解を進めております。	継続して取り組んで参ります。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		スマホやタブレットから確認出来る専用支援ツールを活用。各保護者さんが登録しているため、お子さんの現状の課題や療育の進め方等が常に共有されている状態にあります。また、毎回お越しの際にペアレントトレーニングの状況を確認し、必要に応じてフィードバックをしております。	継続して取り組んで参ります。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に「利用契約書・重要事項説明書・利用規約・映像使用同意書・個人情報同意書」などをお渡しし、説明を行っています。質問等がある場合には、都度対応しています。	継続して取り組んで参ります。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		ご本人やご家族の意向を確認するためのシートを作成し、記入のご協力をいただいた上で聞き取りを行なっています。	継続して取り組んで参ります。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
保 護 者 へ の 説 明 等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		計画作成ごとに支援内容の説明を行ない、同意をいただいています。	継続して取り組んで参ります。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		その場での対応、その日のうちにメールで回答する等し、迅速かつ的確に対応するよう、掛けております。必要に応じて支援ツールの提供等も行なっています。	継続して取り組んで参ります。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	保護者会等は実施していません。保護者には現状、個別で必要に応じた対応を行なっております。	イベントの機会を設ける等、交流の機会を検討していきたいと思います。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		事業所及び法人に相談・苦情受付窓口を設置し、迅速に対応しております。	継続して取り組んで参ります。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		利用当日の様子は口頭でのフィードバックとメールで、連絡体制については電話又はメール等で実施しております。会報等については、弊法人の3か月毎に発行している広報誌をお渡ししております。	継続して取り組んで参ります。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		鍵付き棚に保管しており、外部への持ち出しは原則許可しておりません。	継続して取り組んで参ります。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		お子さんに合ったコミュニケーションのハウツーをご提案しております。保護者さんとは、実際に療育で使用しているツール等を共有し、日常に般化出来るよう貸し出しも行ない、努めています。	継続して取り組んで参ります。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		法人で年1回、地域交流イベントを開催しており、そこに事業所の職員も参加しております。開催に際しては、子どもやその保護者さん達にチラシを渡す等し、告知しております。	継続して取り組んで参ります。
非 常 時 等 の 対 応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルを整備しています。保護者さんへは、契約時に十分な説明をしております。また、追加や改定などあった場合は、速やかにお知らせするようにしております。避難訓練に関しては、職員間でのシミュレーションは定期的の実施しておりますが、お子さん・保護者さんが実際に利用している状況での実施は、叶っておりません。	今後、各種災害を想定した避難訓練を行ない、様々な状況でそのように避難を誘導していくか、実際の検証も含めて実施して参ります。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画を策定しており、法人規定により定期的な訓練・研修を実施しています。	継続して取り組んで参ります。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		面談や見学、契約時などに確認を行っております。また利用ごとに日々の様子を聞き取り、状況を把握しています。	継続して取り組んで参ります。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。			対象者がいません。	対象者がいません。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		法人内でも支援マニュアルを作成、それに基づいた研修等を実施しています。	継続して取り組んで参ります。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		支援マニュアルに基づいた取り組み内容について、ご家族へ周知しています。	継続して取り組んで参ります。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		日報にてヒヤリハットを報告・共有、再発防止策を検討しています。	継続して取り組んで参ります。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		年2回法人内部研修として、虐待防止研修を実施しています。	継続して取り組んで参ります。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		行動支援計画を作成し、事前説明を行なっています。身体拘束が必要なお子さんに関しては、児童発達支援事業計画にも実施が必要な場合があるという旨を記載しています。	継続して取り組んで参ります。

	公表	事業所における自己評価総括表
--	----	----------------

○事業所名	ハグピア （放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	令和7年4月8日 ～		令和7年4月26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	令和7年4月8日 ～		令和7年4月26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年5月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	完全個別療育であるため、お子さんの得意なこと・苦手として いること・現状何が1番の課題として挙げられるのかが直ぐに キャッチすることが出来ます。	お子さんの性格・障害特性・運動機能を見ながらあらゆるパ ターンで課題がクリア出来るよう、幾つか教材・教具を用意し 実践している。実践したことは必ず記録に残し、次回へ向けて アプローチの仕方をブラッシュアップしております。また、個 別支援で得たスキルを幼稚園・保育園での生活・ご自宅での生 活でも般化が出来るよう、保護者さんが負担無く取り組めそう な内容も検討しております。	お子さんの好反応が見られなかった場合、お子さんの好きな キャラクターやツールを活用した教材や強化子（おもちゃ） を提示しモチベーションを上げております。また、スーパー バイザーや他セラピスト・関係療育機関と相談。新たな策を 準備し進めております。状況次第では、時間を置いて再試行 する場合の方が良い場合もあるため、お子さんの様子を見な がら別の課題を進めるなどしバランスを取っております。
2	保護者さんに、リアルタイムで課題の実践方法を伝えることが でき、メインであるセラピーの様子も直に見ていただけること です。	お子さんの様子を見ながら、大人側の声の掛け方やタイミング 等を検証・実践し、取り組んでいただいています。また、保護 者さんへも「こういった対応が分かり易くて良かった」など フィードバックをさせていただき、自信を持っていただけるよ うに進めております。	事業所で実際に使用している教材の貸し出し等を行ない、出 来るだけホームワーク（ペアレントトレーニング）の充実が 出来るように、ご提案させていただいています。
3	保護者さんのお話を毎回伺うことができ、お子さんのエピソードや 困り感なども共有し易い環境であることです。	お話を伺う際には、5W1Hだけでなく保護者さんから見て感 じることや思いを共有し、どのように解決の糸口を見つけて行 くかを随時ご提案しています。	お子さんを取り巻く環境は1つでは無いことから、必要に応 じて関係者会議を開催。弊事業所の他、他事業所・幼稚園・ 保育園・相談支援事業と、支援方針の見直しやアプローチの 方法を検討しております。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	集団での活動が圧倒的に少ないことです。	完全個別療育で進めているため、集団活動を作る機会が早々に ありません。	その時に動くことが出来る職員のサポート・同じセラピーの コマで、同じ課題を持っているお子さんがいる場合、協力を 得ながら4～5人程度の小集団で活動を行なうことも検討し て参ります。
2	屋外活動が少ないことです。	基本的には、1対1の机上で行なう課題を進めて行き、大人の 指示に応じることや続けて課題に取り組む態勢を作ることがメ インであるためです。	お子さんの様子を見ながらにはなりますが、運動機能面を促 進する課題も実施しているため、近隣の公園や広場に行って 自転車に乗る練習や遊具の使い方等も作って参ります。
3	急遽、外部からの対応が入った際にタイムリーに動くことが難 しいです。	時間帯によっては、管理者含めセラピスト全員が担当ケースに 入っている場合があり、スタッフルームにセラピスト不在の状 況が出来てしまうのが現状です。	不在になる時間帯に限り、サポートとなる事務職員を配置し 即時対応が出来るような体制を検討致します。

	公表	保護者等からの事業所評価の集計結果
--	----	-------------------

事業所名	ハグピア
------	------

公表日 令和7年5月27日

利用児童数 18 回収数 18

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	18					ありがとうございます。引き続き、お子さん・保護者さんに気持ち良く過ごしていただけるよう環境設定を進めて参ります。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	16	2				今後も、お子さんの発達をサポートをして参ります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16	1		1		お部屋ドアがマジックミラーになっていることを強みとし、今後もセラピーの様子・課題への取り組みを共有して参ります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17	1				ありがとうございます。引き続き、事故や怪我の無いよう気持ち良い環境作りに努めて参ります。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18					ありがとうございます。引き続き、担当・スーパーバイザーと共に適切なアセスメントを取り、それに基づく支援が提供出来るよう進めて参ります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18					今後も、お子さんの発達をサポートをして参ります。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	17	1				ありがとうございます。保護者様のペアレントトレーニングへの参加が、お子さんの成長・発達に大きい影響が出ていることをセラピストも実感しており、学びをいただいているだけでなく喜びも共有出来ていると感じております。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17	1				お子さんを取り巻く環境は周りにいる大人や物など、外界から作用されることが多いです。引き続き、エビデンスに基づいた支援を展開・説明をして参ります。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18					ありがとうございます。引き続き、お子さんがどこに躓きを感じているのか、丁寧にアセスメントを取りリカバリー出来るように進めて参ります。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	17	1				ありがとうございます。お子さんの反応等をしっかり見ながら、課題をスモールステップで構成して参ります。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	2	7	4	・個別のプログラムに取り組むことを目的に利用しているので、そのような機会を望んでいるわけではなく、不満はありません。 ・普段通っている小学校や、所属している放課後児童クラブで交流の機会があるため、放デイではなくても良い。	事業所として大々的に交流する機会は、現状設けておりません。法人にて何かしら大きいイベントがあった際は、チラシの配布や口頭での宣伝をさせていただいています。もし、こういったイベントがあると良いな…とありましたら、遠慮なくご意見いただけたらと思います。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18					引き続き、お子さん・保護者さんに不利益が被らないよう説明責任を果たして参ります。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17	1				ありがとうございます。お子さんへの支援には不可欠ですので、今後も共有して参ります。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15			3	・毎回のフィードバックがそのような機会にあたるとしています。	ありがとうございます。一方、事業所で提供している支援ツール（AI-PAC）の使い方に関して、特に新規契約をされた方からのお問い合わせを、幾つかいただきました。その都度ご対応させていただいていますが、今後は口頭だけでなく契約時やセラピー開始前に、使用方法の疑問点等もお伺いするように配慮致します。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	18					・ありがとうございます。週に1回の利用であるため、こちらから保護者さんに生活面や状態の変化など、都度詳細をお伺いさせていただいています。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保 護 者 へ の 説 明 等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17	1				ありがとうございます。引き続き、利用時以外にもメール等でお話や共有が出来る雰囲気を作って参ります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18					ありがとうございます。今後も、ご家族の伴走者として支援を共有していけるよう進めて参ります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	1	5	7		事業所単体でのイベントは現状無く、法人としてのイベント・催しものがあった際は都度宣伝させていただいています。今後も、地域交流・家族交流が出来る機会にはお声掛けさせていただきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18					ありがとうございます。ご相談いただいた内容に関しては、必要応じて詳細をお伺いすると共に、状況に応じては各関係機関との担当者会議を設ける等し解決へと進めて行けるよう、引き続き努めて参ります。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18					メール・口頭・支援ツールを通じて、今後もお子さんの成長過程・保護者さんの困り感や嬉しかったエピソードなど共有して参ります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	15			3		課題の記録・利用後のフィードバックメール・法人広報誌にお目を通していただき、ありがとうございます。引き続き、事業所・法人の情報発信を積極的に行なって参ります。
非 常 時 等 の 対 応	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17			1		引き続き、個人情報の取り扱いには留意して参ります。
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15			3		各種マニュアルが設置されていること、随時お目を通していただく発信が至らなかったと思います。随時発信して参ります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4	1	1	12		各種災害を想定した訓練に関しては、セラピスト間での実施・確認（避難動線の確保や誘導方法など）はしていますが、お子さんが利用している間での避難訓練は実施しておりません。今後、必要な訓練として実施を計画し共有出来るように致します。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17	1				引き続き、教材・遊具などお子さん・保護者さんが手に触れるものに欠損は無いかな等点検して参ります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12	1		5		幸い、大きな事故に至るケースはありませんでした。しかし、お子さんの体調の変化や軽微な怪我（手を机にぶつける・ささくれを取ってしまう等）は常に隣り合わせであることを考え、少しでも変化があった際には必ずご報告するよう努めます。
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	18					ありがとうございます。今後も、居心地の良い事業所であるように致します。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	14	3	1			お子さんとセラピストとの関係性が構築出来ることは、とても嬉しく思っております。引き続き、課題の負荷は調整しながら「今日も1日楽しかった！」と言ってもらえるような事業所を目指して参ります。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
満 足 度	29	事業所の支援に満足していますか。	18					たくさんの有難いご意見、本当にありがとうございます。ご自宅におきまして、事業所同様の課題をホームワークとして実践して下さり、有難く存じます。 セラピスト達も、日々学びの積み上げです。支援が行き届いていない箇所や、説明の際に言葉が足らず不安や誤解を招いてしまうことの無いよう、細心の注意を払い業務を遂行しております。セラピストの対応だけでなく、環境面においても不足な部分がありましたら、遠慮なく仰ってくださればと思います。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ハグピア					公表日 令和7年5月27日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		基準に見合ったスペースを確保しています。	継続して取り組んで参ります。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。		○	基準に沿っているが、セラピスト全員が担当ケースに入っている場合があり、急遽外部からの対応が難しい場合があります。	支援は継続しつつ、外部への対応が滞りなく進むよう体制を一考します。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		お子さんの特性に合わせた環境設定を常に意識し、対応しております。	継続して取り組んで参ります。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日環境整備を行ない、居心地の良い環境作りを進めております。また、おもちゃやゲームを幾つか用意し、お子さんのモチベーションが上がるように配慮しています。	継続して取り組んで参ります。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		○	基本的には、使用することを良しとしています。しかし現状、他のお子さんも他部屋を使用しているため、状況を見ながらの促しにはなりません。	幾つか代案を提示し、お子さんにとって必要な環境を提供して参ります。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		毎日の業務（支援・事務作業）にて振り返りを行ない、原因の追究と次回からの動き等を随時確認しております。	自身が抱えているケース等、全体で共有しな更に知見を深められるようにして参ります。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者さん送迎のため、その都度ご意向・ご意見を確認しております。また、頂戴した声は事業所内で共有し、改善を心掛けております。	改善後の経過も踏まえて、随時報告が出来るようにして参ります。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		日々のケース実施前後・支援者会議・教材作成等の時間を有効活用し、疑問や意見を共有しております。	PDCAサイクルを念頭に、日々の業務改善を心付け、実践して参ります。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	今後、外部への委託検討しております。	評価実施の際は、更なる改善を行なって参ります。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		外部研修への参加の他、定期的な研修を法人内で実施しております。	外部・内部ともに情報を収集し、学びの機会をより増やして参ります。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		5領域に合わせた支援プログラムを作成、公表しております。	引き続きし作成、公表を行なって参ります。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		保護者へのフィードバックや法人内でのスーパーバイズを基に課題等を検討し、計画を作成しております。	よりフィードバックやスーパーバイズの内容を基に課題等を更新して参ります。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		作成にあたり、放課後等デイサービス計画作成の為の関係者会議を開催し、その時期にあった計画内容の検討を行なっています。	それぞれの関連職員が、より共通理解できる様会議時期の選定等を行なって参ります。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		各担当職員と話し合いながら、計画を立てた内容を進めております。	実施状況を、各職員間でのフィードバックを強化して参ります。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		お子さんの様子を、生活面・課題への取り組み姿勢等から検証し、どのようなアプローチをしていくと成長を促すことが出来るか、エビデンスに基づいて確認しております。	全体で共通認識が出来るフォーマルアセスメントの実施等を、盛り込めるよう検討して参ります。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		支援の5領域を中心に、各項目に対して現状の様子と課題を記載。具体的な支援内容・支援者が行なうことを、各領域ごとに設定しております。	適宜見直しを行ないながら、各領域ごとの支援内容を設定して参ります。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		日々のセラピーの様子・関係機関からいただくスーパーバイズを基に、プログラムを立案。担当者及び児童発達支援管理責任者とで、話し合いながら進めております。	週間計画等より、日々の支援が見える化出来るよう、詳細な立案を行なっていきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		当日の記録と課題シートへ、「次回課題として進められる事柄」を明記し、成長に沿った課題構成を行なっております。	PDCAサイクルを念頭に、プログラムをアップデート・マイナーチェンジして参ります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。		○	基本的には、完全個別療育のため集団での活動が圧倒的に少ないことが現状です。	状況に応じて、他職員・他児の協力を得ながら4名程度の小集団を構成し、獲得したスキルを集団生活へ般化出来るよう進めることを検討致します。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。		○	毎日の打ち合わせは実施していないが、各々で必ず日報・メール確認を業務ルーティンへ入れ、必要に応じて詳細をリアルタイムで確認しております。	引き続き、齟齬の無いように取り組んで参ります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		その日利用した子どもの状態及び、保護者との話の内容を共有し、次回に活かせるようにしております。	次回利用時に気づきとして振り返りを行なっている為、継続して参ります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		サービス提供記録を毎回記入し、検証等につなげられるようにしております。	継続して取り組んでいきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		6ヶ月毎に放課後等デイサービス計画書についてモニタリングをし、計画書を更新しています。	継続して取り組んでいきます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		個別療育の中にも、着替えや排泄などADLの面へのアプローチや、工作を通しての創作活動・運動機能面の発達促進、好きなおもちゃやゲームで遊ぶ等の支援を実施しております。	引き続き、メリハリを付けながら展開して参ります。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		遊びたいおもちゃや課題で使いたいツールなど、随時お子さんの意志を何うと同時に自ら要求を言葉で伝えることが出来るように支援しております。	あらゆるシーンで、自己決定力・自己表現力が高められるようアプローチして参ります。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者が参加しております。	継続して取り組んで参ります。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		法人の事業所と連携を取りながら、地域の医療との連携や各関係機関と連携できる様体制整備をしております。	継続して取り組んで参ります。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		必要に応じて、学校、保護者、相談支援機関と連携をとり、情報共有に努めております。	継続して取り組んで参ります。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		必要に応じて、相談支援機関を通じて就学前に利用していた幼稚園や保育園等と連携を取り、情報共有に努めております。	継続して取り組んで参ります。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。			対象者がいません。	対象者がいません。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		各事業所や関係機関と連携を図り、支援への助言をいただき共有しております。	継続して取り組んで参ります。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○	ほとんどのお子さんが、他機関の事業所等を利用されているため、現状では機会を設けておりません。	関係機関と連携し、方法を検討して参ります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		同一法人内の職員が、地域のこども部会などへ参加しております。	継続して取り組んで参ります。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		療育終了後、口頭でのフィードバックとメール等での情報共有等から、共通理解を進めております。	継続して取り組んで参ります。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		スマホやタブレットから確認出来る専用支援ツールを活用。各保護者さんが登録しているため、お子さんの現状の課題や療育の進め方等が常に共有されている状態にあります。また、毎回お越しの際にペアレントトレーニングの状況を確認し、必要に応じてフィードバックをしています。	継続して取り組んで参ります。
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に「利用契約書・重要事項説明書・利用規約・映像使用同意書・個人情報同意書」などをお渡しし、説明を行っています。質問等がある場合には、都度対応しています。	継続して取り組んで参ります。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		ご本人やご家族の意向を確認するためのシートを作成し、記入のご協力をいただいた上で聞き取りを行なっています。	継続して取り組んで参ります。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		計画作成ごとに支援内容の説明を行ない、同意をいただいています。	継続して取り組んで参ります。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		その場での対応、その日のうちにメールで回答する等し、迅速かつ的確に対応するよう、掛けております。必要に応じて支援ツールの提供等も行なっています。	継続して取り組んで参ります。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○	保護者会等は実施していません。保護者には現状、個別で必要に応じた対応を行なっております。	イベントの機会を設ける等、交流の機会を検討していきたいと思います。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		事業所及び法人に苦情受付窓口を設置し、苦情があった際には迅速に対応しております。	継続して取り組んで参ります。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		利用当日の様子は口頭でのフィードバックとメールで、連絡体制については電話又はメール等で実施しております。会報等については、常法人の3か月毎に発行している広報誌をお渡ししております。	継続して取り組んで参ります。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		鍵付き棚に保管しており、外部への持ち出しは原則許可しておりません。	継続して取り組んで参ります。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		お子さんに合ったコミュニケーションのハウツーをご提案しております。保護者さんとは、実際に療育で使用しているツール等を共有し、日常に般化出来るよう貸し出しも行ない、努めています。	継続して取り組んで参ります。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		法人で年1回、地域交流イベントを開催しており、そこに事業所の職員も参加しております。開催に際しては、子どもやその保護者さん達にチラシを渡す等し、告知しております。	継続して取り組んで参ります。
非 常 時 等	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルを整備しています。保護者さんへは、契約時に十分な説明をしています。また、追加や改定などあった場合は、速やかにお知らせするようにしております。避難訓練に関しては、職員間でのシミュレーションは定期的を実施しておりますが、お子さん・保護者さんが実際に利用している状況での実施は、叶っておりません。	今後、各種災害を想定した避難訓練を行ない、様々な状況でそのように避難を誘導していくか、実際の検証も含めて実施して参ります。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画を策定しており、法人規定により定期的な訓練・研修を実施しています。	継続して取り組んで参ります。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		面談や見学、契約時などに確認を行っています。また利用ごとに日々の様子を聞き取り、状況を把握しています。	継続して取り組んで参ります。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。			対象者がいません。	対象者がいません。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
す の 対 応	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		法人内でも支援マニュアルを作成、それに基づいた研修等を実施しています。	継続して取り組んで参ります。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		支援マニュアルに基づいた取組み内容について、ご家族へ周知しています。	継続して取り組んで参ります。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		日報にてヒヤリハットを報告・共有、再発防止策を検討しています。	継続して取り組んで参ります。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		年2回法人内部研修として、虐待防止研修を実施しています。	継続して取り組んで参ります。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		行動支援計画を作成し、事前説明を行なっています。身体拘束が必要なお子さんに関しては、放課後等デイサービス計画にも実施が必要な場合があるという旨を記載しています。	継続して取り組んで参ります。

	公表	事業所における自己評価総括表
--	----	----------------

○事業所名	かりん			
○保護者評価実施期間	令和7年4月7日		～	令和7年4月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数)	12
○従業者評価実施期間	令和7年 4月 21日		～	令和7年 4月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年5月9日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・ご本人達の特性に特化したグループ編成が行える環境設定があるです。	・初回利用から数回は全体集団の中で活動して頂いているが、その中で取り組み姿勢や内容を見極めグループ分けを行なっています。 ・分かれたグループ内での活動は日々のミーティングで共有し改善を図っていています。	・グループ内で主に行なう活動の方向性はその日毎でも異なる為、固定のプログラムのみの実施に偏らない様、各グループでの取り組みを別グループにも取り入れる様にしています。
2	・運動プログラムの一環としてローラースケートを実施しています。	・ご本人のタイプや特性等に関わらず、一度は必ず実施して頂くようにし、ご本人のバランス力や道具の扱い等を確認しています。	・現状は室内での実施が主となっているため、活動の幅を広げていく為今後は屋外での実施を検討していきます。
3	・生活力を向上させていくための取り組みを行なっています。	・歯磨きやおやつ提供後の食器洗い等、ご自宅や学校でも必要となってくる生活スキルの面に関しての取り組みを日々の活動の中に取り入れるようにしています。	・歯磨きそのものに抵抗感の強いお子さん達に対して「歯ブラシを持つ」や「口に入れるのみ行なう」など段階的にとり組むことができるプログラム構成を行なって行きます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・直接的にお子さん達の活動の様子や取り組みをご覧になっていただける機会が少ない事です。	・主にご本人の様子をお伝えするのが送迎の際にお話をする事を主としているため、詳細にお伝えできる時間が少なくなっていることが要因と考えられます。	・個別面談時に、お子さんの動画等を用意して活動の様子を見て頂く事ができる機会を設けて行きます。 ・お迎えに来ていただく日等を設け、実際の様子を見て頂くことができるようにしていきます。
2	・余暇支援に関してのバリエーションが少なくなってしまう事です。	・買い物や外出等行なっているが、現状は日常的な活動プログラムに対してどのお子さんもそれぞれのペースで取り組み切れる事と言う部分を重視している為です。	・お子さん方の特性に合わせたグループ編成を行なっている為、グループごとの企画としての実施等身近に外出等の余暇支援を実施できる環境を作っていきます。
3	・職員間の連携の拡充の方法	・共生型と生活介護事業所と併設している環境で取り組みを行なっているが、生活介護職員と情報共有等に不足がある部分があるです。	・送迎等に協力して頂く等、お子さん達を知って頂く機会を増やしていきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名

かりん

公表日

令和7年5月27日

利用児童数

22

回収数

12

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	8	2		2	もう少し広いと良い	棚や机を可動式にする等、適切なスペース確保を行なって行きます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	9	1		2		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8	1	1	2		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	9			3		
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	11	1				
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	9	1		2		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	11			1		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10			2		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9			3		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9	1		2		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	1	1	3	7		
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	8			4	・覚えてないです。 ・申し訳ありません、覚えてないです。	6ヶ月ごとに行なっていますが、必要に応じて短期間での説明を実施して行きます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2	4	1	5		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	11			1		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	7	3	1	1		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10			2		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	1	5	5		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9	1		2		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11	1				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	4	2	2	4		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10	1		1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	1	1	1	9		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1			11		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8			4		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	6	1		5		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	11	1				
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	9	3			・感情の見えない子なのでわかりません ・他のところに行きたいと意思表示をする時があります。	よりプログラムの充実を職員間で話合う事と合わせてご自宅での様子等をご家族から聞き取り楽しみにできるプログラム拡充を行なって行きます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	12					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		かりん					公表日 令和7年5月27日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	☐		基準以上のスペースを確保しています。	ご利用児童の増加に伴い支援室の設定等を検討して行きます。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	☐		基準以上の職員数を配置しています。	よりきめ細やかなニーズに対応できる様、スポットのプログラムに特化したボランティアの方の協力等を模索して行きます。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	☐		個別課題時に使用する個室スペース、活動内容を示すスケジュールボード等設置しています。また、活動によってエリアを分け、わかりやすいようにしています。	エリア分け等に関してはご本人達が主体的に動くことができる様、視覚化等行なって行きます。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	☐		課題用の棚、余暇物の棚を別々に配置し、わかりやすくしています。また、活動に合わせて組み換えが出来るよう、物品を配置しています。	活動ごとの区分けは行なっているものの、その境が明確でないときもあるのでより視覚化できるようにして行きます。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	☐		教室内に区分けされた個別のスペースを設けており、自由に出入りできるようになっています。	出入りした際の過ごしやすさを検討していきます。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	☐		毎日受け入れ前に打ち合わせを実施し、情報共有・振り返りを行なっています。	個別のケース等も詳細に共有し、より支援を深められるようにして行きます。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	☐		毎利用ごとにお迎えに来ていただいている為、その都度意向やご意見を確認しています。頂いた声は事業所内で共有し、改善を心がけております。	改善後の経過も踏まえて改めてのお伝えがより行えるようにして行きます。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	☐		毎日受け入れ前に打ち合わせを実施し、利用者支援・事務業務等について意見交換・改善案の策定を行なっています。	業務改善の為、意見交換し内容から最低一つは当日中の改善取り組みを実施していきます。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		☐	今後、外部への委託検討しています。	評価実施の際はさらなる改善を行なって行きます。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	☐		外部研修への参加の他、定期的な研修を法人内で実施しています。	外部・内部ともに情報を収集し、学びの機会をより増やしていきます。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	☐		各領域に合わせた支援プログラムを作成、公表しています。	引き続きし作成、公表を行なって行きます。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	☐		保護者へのフィードバックや法人内でのスーパーバイズを基に課題等を検討し、計画を作成しています。	よりフィードバックやスーパーバイズの内容を基に課題等を更新していきます。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	☐		作成にあたり、放課後等デイサービス計画作成の為の関係者会議を開催しその時期にあった計画内容の検討を行なっています。	それぞれの関連職員がより共通理解できる様会議時期の選定等を行なって行きます。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	☐		各担当職員と話し合いながら、計画を立てた内容を進めています。	実施状況の各職員間でのフィードバックを強化していきます。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	☐		お子さんごとに一定期間ごとの着目する行動を決め、その行動に対しての行動観察や情報共有を行ない状況把握を行なっています。	共通指標の為のフォーマルアセスメントの実施等を盛り込んでいきたいと思います。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	☐		支援の5領域を中心に各項目に対して現状と課題、具体的な支援内容・支援者が行なうことを各領域ごとに設定しています。	適宜見直しを行ないながら、各領域ごとの支援内容を設定していきます。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	☐		日々のミーティングや、スーパーバイズを基にプログラムを立案し、担当者及び児童発達支援管理責任者とで話し合いながら進めています。	週間計画等より、支援が見える化出来るより詳細な立案を行なって行きます。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
文 援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		利用当日の記録に「次回課題」の項目を設け、状況に合わせたプログラム構成を行なっています。	「次回課題」を振り返ることで固定プログラムにならないよう対応していきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		集団での課題と、個別での課題に応じた活動を盛り込んだ計画を作成しています。	日々の活動の中で、計画に対しての実施状況をより共通の指標で残すことができる様、書式等を整備していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎日の打ち合わせを実施し、役割分担やその日の課題について確認しています。	取り組みを継続し、齟齬の内容に取り組んでいきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		その日利用した子どもの状態及び、保護者との話の内容を共有し、次回に活かせるようにしています。	次回利用時に気づきとして振り返りを行なっている為、継続していきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		サービス提供記録を毎回記入し、検証等につなげられるようにしております。	継続して取り組んでいきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		6ヶ月毎に放課後等デイサービス計画書についてモニタリングをし、計画書を更新しています。	継続して取り組んでいきます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		歯磨きなどの日常生活動作への支援や絵画や工作等の創作活動、ボランティアの方を受け入れての活動、余暇支援の為の過ごししの提供を行なっています。	より余暇支援が充実できる様、グループ分けや職員体制の整備を行なって行きます。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		買い物の活動等を取り入れ自己選択の機会を作ったり、プログラムの中でご自身で活動内容を選んで頂けるような設定を行なっています。	余暇活動にも取り入れ、遊びの内容を選んでいただけるような機会作りを行なって行きます。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者が参加しています。	継続して取り組んでいきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		法人の事業所と連携を取りながら、地域の医療との連携や各関係機関と連携できる様体制整備をしています。	継続して取り組んでいきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		必要に応じて、学校、保護者、相談支援機関と連携をとり、情報共有に努めております。	継続して取り組んでいきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		必要に応じて相談支援機関を通じて就学前に利用していた幼稚園や保育園等と連携をとり、情報共有に努めております。	継続して取り組んでいきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。			対象者がいません。	対象者がいません。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		各事業所やセンターと連携を図り、助言等について共有しております。	継続して取り組んでいきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○	ほとんどのお子さんが、他機関の事業所等を利用されているため、現状では機会を設けてはいません。	関係機関と連携し、方法を検討していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		同一法人内の職員が地域のこども部会などへ参加しております。	継続して取り組んでいきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		毎回の利用時の送迎時やメール等での情報共有などから共通理解をはかっています。	継続して取り組んでいきます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		専門的なものは実施できていませんが、事業所で取り組んだことをご自宅でも実施していただけるように、ツールを用意する等行っています。	継続して取り組んでいきます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に「利用契約書・重要事項説明書・利用規約・映像使用同意書・個人情報同意書」などをお渡しし、説明を行っています。質問等がある場合には、都度対応しています。	継続して取り組んでいきます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		ご本人やご家族の意向を確認するためのシートを作成し、記入の協力を頂いた上で聞き取りを行なっています。	継続して取り組んでいきます。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
保 護 者 へ の 説 明 等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		計画作成ごとに支援内容の説明を行ない、同意を頂いています。	継続して取り組んでいきます。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		迅速かつ的確に対応するように心がけています。必要に応じて支援ツールの提供等も行なっています。	継続して取り組んでいきます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○	保護者会等は実施していません。保護者には現状、個別で必要に応じた対応を行っております。	イベントの機会を設ける等、交流の機会を検討していきたいと思います。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		事業所及び法人に苦情受付窓口を設置し、苦情があった際には迅速に対応しています。	継続して取り組んでいきます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		利用時の様子は送迎時のフィードバック、連絡体制については電話メール等で実施しています。会報等については、弊法人の3か月毎に発行している広報誌をお渡ししております	継続して取り組んでいきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		鍵付き棚に保管しています。	継続して取り組んでいきます。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		お子さんに合ったコミュニケーションツールの確立をはかっています。保護者とは実際に事業所等で使用しているツール等を共有し、日常に般化できるよう努めています。	継続して取り組んでいきます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		法人で年1回、地域交流イベントを開催しており、そこに事業所の職員も参加しております。開催に際しては、子どもやその保護者に告知しております。	継続して取り組んでいきます。
非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルを整備しています。保護者には契約時に十分な説明をしています。また、追加や改定などあった場合は速やかにお知らせするようにしています。また法人規定により発生を想定した訓練を実施しています。	訓練の実施に関しては「曜日ごと」など幅広く実施していく事ができるように検討して行きます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画を策定しており、法人規定により定期的な訓練を実施しています。	継続して取り組んでいきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		面談や見学、契約時などに確認を行っています。また利用ごとに日々の様子を聞き取り、状況を把握しています。	継続して取り組んでいきます。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。			対象者がいません。	対象者がいません。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		法人内でも支援マニュアルを作成、それに基づいた研修等を実施しています。	継続して取り組んでいきます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		支援マニュアルに基づいた取り組み内容について、ご家族へ周知しています。	継続して取り組んでいきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		毎日の打ち合わせを実施しヒヤリハットを共有、再発防止策を検討しています。	継続して取り組んでいきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		年2回法人内部研修として、虐待防止研修を実施しています。	継続して取り組んでいきます。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		行動支援計画を作成し、事前説明を行なっています。身体拘束が必要なお子さんに関しては放課後等デイサービス計画にも実施が必要な場合があるという旨を記載しています。	継続して取り組んでいきます。